

30E-pm04

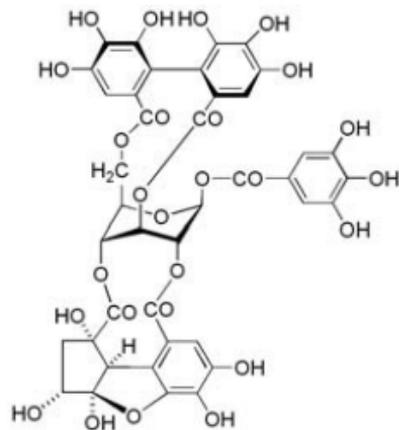
ゲンノショウコのポリフェノール成分による品質評価

○林 福花¹, 谷口 抄子¹, 伊東 秀之¹, 大橋 史明², 土居 功一², 柴田 高², 波多野 力¹(¹岡山大院医歯薬, ²大幸薬品)

【目的】ゲンノショウコ中のポリフェノール成分の定量的評価について検討を進めている。先に、本学薬草園での栽培品および生薬製剤原料となっている試料について geraniin および chebulagic acid, geraniinic acid B, brevifolincarboxylic acid などの定量的な分析を行い、その結果を報告した。今回、その他のポリフェノール化合物の同定を進めるとともに、主要ポリフェノール成分の HPLC による一斉分析条件を検討した。

【方法】ゲンノショウコ粉末の 70%アセトン抽出物を C18 カートリッジで処理し、逆相系カラムの Hydrosphere C18 を用い、移動相としてリン酸緩衝液 - アセトニトリル系で分析を行った。

【結果・考察】各成分間の良好な分離が見られる条件を確立した。本学薬草園での栽培品について検討した結果、葉には geraniin が主成分として多量に含有されることを確認できた。また、葉は茎に比べポリフェノール成分の含有量が高かった。一方、生薬製剤原料として使用される各試料について分析したところ、phyllanthusiin C をはじめ、geraniin 関連のその他のエラジタンニンが、薬草園栽培品に比べ相対的に多く含有されていた。



Phyllanthusiin C